

# 平成19年度 本部関係事業計画書

(平成19年3月20日 通常総会提出)

社団法人 化学工学会

## 平成19年度重点施策

“1人ひとりが主人公”の魅力ある学会へ  
――産業界若手への期待とアジア大の国際協力実現に向けて――

1. 会員サービスの充実
  - ・会員にとって魅力ある支部・部会活動
  - ・学会誌の内容の充実
  - ・化学技術者への継続教育の更なる充実
  - ・技術者資格制度の社会的認知と定着
2. 産学連携の緊密化による学会の活性化
  - ・化学工学会によるインターンシップ制度の充実
  - ・「先端化学産業技術プログラム」拡充による年会の活性化
  - ・INCHEM TOKYO 2007 魅力ある展示と先端技術の紹介
  - ・産業界会員が活躍しやすい仕組みづくり
  - ・産業界会員の増強
3. 学術の社会への発信
  - ・戦略的学会運営のための仕組みづくり  
産学若手を主体とした活動と社会への情報発信
  - ・年会「産学官交流プログラム」の継続とロードマップの発信
4. 国際交流活動の充実
  - ・欧米、中国、韓国、ASEAN 各国との学術交流の活性化（学生交流を含む）
  - ・WCEC, APCChE での活動・交流の強化
  - ・英文 HP を活用し、世界に向けて情報発信

### [1] 名誉会員・化学工学会賞

名誉会員候補者の推薦

化学工学会賞候補者の決定

### [2] 本部大会

第72年会（平成19年3月19日～21日）京都大学・吉田キャンパス

### [3] 刊行物

1. 会誌

- (1) 「化学工学」誌 第71巻1号～12号(12冊)
  - ページ数：80 ページ/号平均
  - 部 数：9,600部/号平均
- (2) 「化学工学論文集」 第33巻1号～6号(6冊)
  - ページ数：85 ページ/号平均
  - 部 数：1,340部/号平均
- (3) 英文誌“JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN” 第40巻 No.1号～12号(12冊)
  - ページ数：130 ページ/号平均
  - 部 数：1,240部/号平均

## 2. 不定期刊行物

- 最近の化学工学〔58〕(関東支部編)
- 化学工学の進歩〔41〕(東海支部編)

## [4] センター、CT、委員会活動

### 1. 地域CT

- ・魅力ある支部活動の検討

### 2. 部会CT

- ・会員にとって魅力ある部会活動の検討

### 3. 産学官連携センター

#### (1) 常置委員会活動

開発型企業の会、SCE-Net、グローバルテクノロジー委員会、経営システム研究委員会

#### (2) 運営会議関連の活動

- ・「先端化学技術プログラム」の開催
- ・化学工学会によるインターシップ<sup>®</sup>制度の充実
- ・INCHEM TOKYO2007 「産学官マッチングフォーラム」の開催支援

### 4. 情報サービスセンター

- ・学会誌、内容の充実の検討
- ・和文誌、電子投稿・電子査読の検討
- ・オンラインジャーナルの課金検討

### 5. 人材育成センター

#### (1) 理科教育委員会

- ・学生発表会 3月3日 東地区：東京農工大学、西地区：大分大学
- ・第8回関東地区中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会

- (2) 高等教育委員会
  - ・化学工学の教科書出版（「はじめての化学工学」－プロセスから学ぶ基礎－）
- (3) 教育審査委員会
  - ・平成19年度化学分野審査：本格審査実施、中間審査実施
  - ・大学院修士課程審査実施
- (4) 継続教育委員会
  - ・新規に1～2プログラムを開発
- (5) 経営ゼミナール委員会
  - ・関西、東京、東海、つくばセッションをそれぞれ1泊2日を実施
- (6) 資格制度運営委員会
  - ・上席化学工学技士、化学工学技士、化学工学修習士 審査実施

#### 6. 戦略企画センター

- ・継続性のある戦略的学会運営のための仕組みづくりの検討

#### 7. 会員増強委員会

- ・18年度増加傾向に転じた会員数の増加傾向維持

#### 8. 男女共同参画委員会

- ・イブニング就職セミナーの開催
- ・女性会員からのメッセージをHPに掲載
- ・年会でパネル討論会を実施

#### 9. 国際交流委員会

- ・欧米、中国、韓国、ASEAN各国との交流の活性化（学生交流を含む）
- ・WCEC, APCC hEでの活動・交流の強化
- ・世界に向けた情報発信

### [5] 事業

#### 1. 国際交流事業

- ・A I C h E 2 0 0 7 （ N o v e m b e r 4 - 9 , 2 0 0 7 ）  
S a l t P a l a c e C o n v e n t i o n C e n t e r  
S a l t L a k e C i t y , U T
- ・日中化工シンポジウム（2007年10月頃 中国）
- ・日韓化学工学シンポジウム（2007年12月頃 韓国）

## 2. 特別事業

### (1) 夢・化学ー21キャンペーン事業

化学工学会を含む4団体主催、文部科学省、経済産業省

○「全国高校化学グランプリ2007」「国際化学オリンピック」

○「夏休み子供化学実験ショー」

○「週末実験教室」

### (2) INCHEM TOKYO 2007開催予定 会場：東京ビッグサイト（有明）

名称： 第26回 INCHEM TOKYO 2007

○ 展示会 会期：11月6日（火）～11月9日（金）

予定展示規模：400社 / 1,200小間（前回：374社/1,100小間）

予定来場者数：85,000名（前回：85,896名）

① プラントショー

② 先端材料展

③ 製造業環境・エネルギー対策展（ECO-Manufacture）

④ 特別企画 『バイオマス転換・利活用』（集中展示他）

『産・学・官マッチングフォーラム』

⑤ その他 テクノプレゼンテーション

○ その他催事予定

オープニングセレモニー（11月6日）、特別講演会、技術シンポジウム

学生ツアー、中国セミナー、濾過分離シンポジウム

## 3. 受託調査・研究事業応募予定

### (1) 経済産業省

「化学工業における化学工学技術者の製造中核人材育成」

### (2) JST（科学技術振興機構）

「化学装置の腐食防食に係る技術者Web教材制作」 主査 酒井 潤一氏（早稲田大学）

## [6] 支部事業

別表「平成19年度各支部事業計画」参照